

12	主題を支える題材をつかむ	1	48
11	韻文 <small>いんぶん</small> の表現をつかむ	...	44
10	表現の特色をつかむ	2	40
9	表現の特色をつかむ	1	36
8	心情・性格をつかむ	2	32
7	心情・性格をつかむ	1	28
6	場面・情景をつかむ	2	24
5	場面・情景をつかむ	1	20
4	文脈をつかむ	2	16
3	文脈をつかむ	1	12
2	接続語をつかむ	...	8
1	指示語をつかむ	...	4
<hr/>			
24	要旨 <small>ようし</small> をまとめる・要約する	2	96
23	要旨 <small>ようし</small> をまとめる・要約する	1	92
22	要点をつかむ	2	88
21	要点をつかむ	1	84
20	キーワード・キーセンテンスをつかむ	...	80
19	文章の構造をつかむ	2	76
18	文章の構造をつかむ	1	72
17	事実と意見を区別して内容をつかむ	2	68
16	事実と意見を区別して内容をつかむ	1	64
15	主題をつかむ	2	60
14	主題をつかむ	1	56
13	主題を支える題材をつかむ	2	52

12	対義語	122
11	類義語	120
10	熟語の組み立て	118
9	同訓異義語	116
8	同音異義語	114
7	部首	112
6	漢字の成り立ち	110
5	漢字の読み方のまとめ	108
4	訓読み	106
3	音読み	104
2	筆順	102
1	画数	100
<hr/>			
24	助動詞	146
23	助詞	144
22	体言・用言以外の自立語	142
21	体言・用言	140
20	敬語	138
19	単文・重文・複文／文学史	136
18	かなづかい・送りがな	134
17	慣用句	132
16	ことわざ	130
15	文節・文の組み立て	128
14	修飾語 <small>しゆじりご</small>	126
13	主語・述語	124

□(3) 十一月になると、あちこちのささやぶの中で、ひぐまが、さかんにささをかみ切り始めます。このころから、もう冬ごもりの準備が始まっているのです。

□(4) ひぐまはせっせと集めたささやかれ草を、あなの入口のところまで運びます。次に、それらを口にくわえたり、前足でかかえたりして、おしりからあなの中に入れていきます。

□(5) 十二月。ひぐまはしょぼしょぼした目で、一日中あなの入口にすわっています。そこで冬ごもりの始まる日を待っているのです。

2 次のそれぞれの文の——線部のことばが指している部分を、それぞれ書きぬいて答えなさい。

□(1) 人のいない島へ行って、そこで生活してみたい。

□(2) 海流は、太陽の熱・地球の自転・風の三つの作用、また、それらのほかに、複雑な大陸の地形が加わって生じるものなのです。

□(3) 学校での点数ではかる学力だけが、能力だということはない。それは能力のごく一部にすぎない。

□(4) これは本を読んで知ったことだが、文章を読むと、それを書いた人の性格までわかるといふことだ。

3 次の文章の——線部のことばが指している部分をさがし、その最初と最後の五字(読点も字数に数えます)を書きぬいて答えなさい。

〈辻仁成〉そこに僕はいた「よりく

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈富山和子「森は生きている」より〉

□(1) — 線①「そんなはたらき」が指している内容を、「はたらき」に続く形で本文中から書きぬいて答えなさい。

はたらき

□(2) — 線②「それ」が指している内容を、「〜こと。」という形で書いて答えなさい。

こと。

□(3) — 線③「それ」が指している内容を、十字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。

□(4) — 線④「そのため」が指している内容を、「ため」に続く形で本文中から書きぬいて答えなさい。

ため

